

(一般外科・小児外科・肛門外科)

1. 概 要

(1) 一般外科・小児外科

2012年の手術総数は1733件で、そのうち小児外科手術は214件。緊急手術は23%。対象疾患は、虫垂炎やヘルニアといった日常的な疾患から消化器・乳腺の悪性腫瘍まで幅広い。悪性腫瘍に対する腹腔鏡下手術は、早期胃癌との中等度進行大腸癌に対し、それぞれ15件と23件に行った。乳癌手術は95例で、乳房温存手術は36例、センチネルリンパ節生検陰性は59件。肝切除は46例で、疾患別内訳は、原発性肝癌15、転移性肝癌26、胆道癌2、その他3。膵頭十二指腸切除は24例で、疾患別内訳は、膵腫瘍12、胆管癌5、乳頭部癌4、十二指腸癌1、その他2。上部消化管潰瘍穿孔14例のうち非手術的保存療法は5例だった。腸閉塞入院は190例のうち60例(31%)に手術が施行された。15歳以下の小児手術は214例で、新生児手術は5例。名古屋大学小児外科と連携し治療にあたっている。

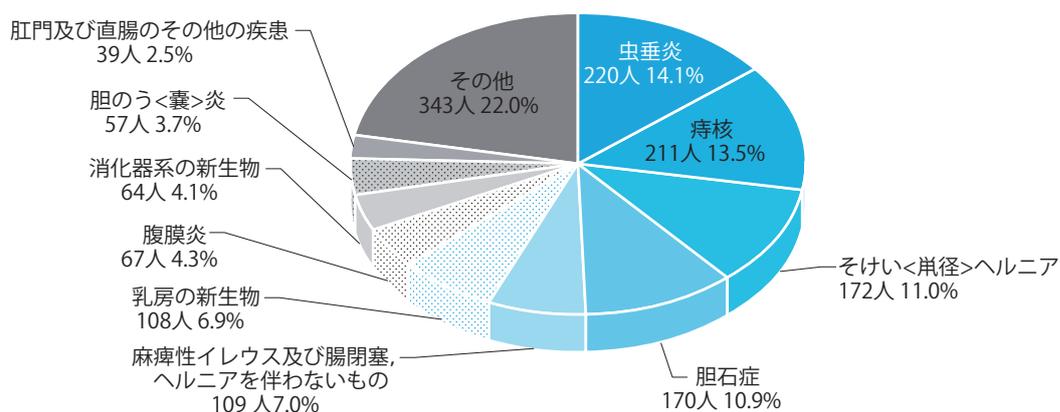
(2) 肛門外科

“肛門外科”は当院移転新設に伴い設置され17年継続して患者様を診させていただいている。一般的な疾病であるが、専門性を必要とした治療においてはやはり当院を受診され治療を希望される患者様も多く、肛門疾患の診療・治療、また肛門疾患にとどまらず直腸や大腸の病気に関する他医からの紹介も含め診察や治療に来られる患者様に当たっている。一般外科医も診察している。患者様が気軽に受診できるような対応・環境整備、特にプライバシーの面から診察で患者様に不自由・不快な思いを持たれないように努力している。保存的治療を主とし、外来処置や生活指導・薬物療法に重きを置き患者様の自覚症状によって手術適応を決めている。肛門疾患が主訴であっても検査の必要性をよく説明し検査を受けていただいた結果、悪性腫瘍も早期診断もみられる。“ストーマ外来”を併設し、人工肛門の患者様のサポートを行っている。(柴田佳久)

一般外科

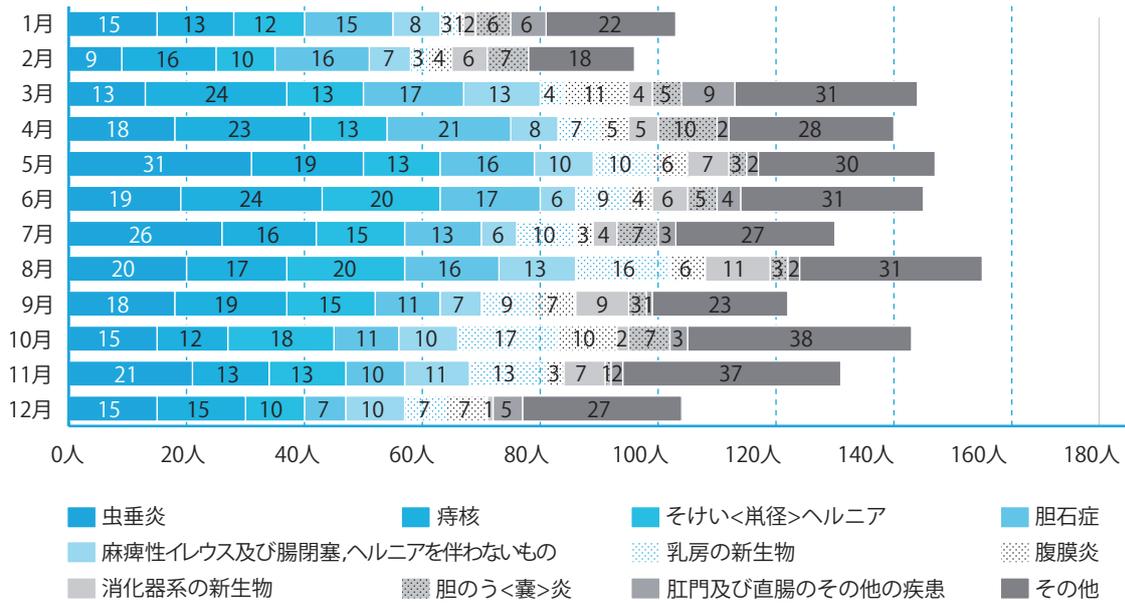
疾患別頻度（悪性新生物を除く）

新患者数:1,560人



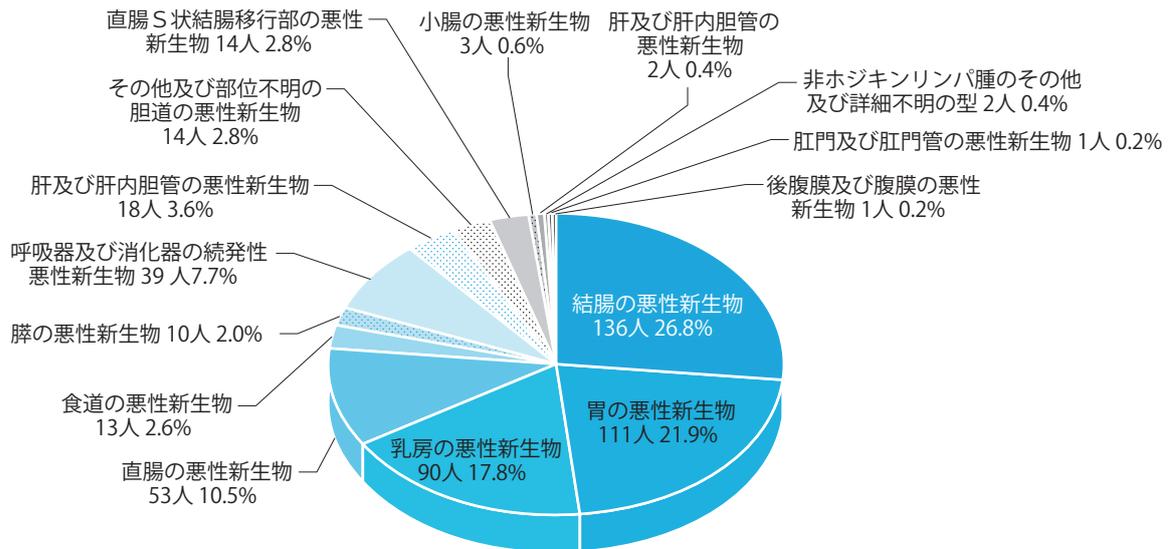
月別疾患別頻度（悪性新生物を除く）

新患者数:1,560人



疾患別頻度（悪性新生物）

悪性新生物新患者数:507人



一般外科

科指定 5 疾患

新患者数:556人

1	大腸癌	206人
2	胆石症	123人
3	胃癌	111人
4	乳癌	90人
5	膵胆道癌	26人
	計	556人

一般外科・小児外科手術数（2012年）

① 一般外科	1,518件
全身麻酔	1,107
腰部麻酔	80
局部麻酔	331
ア 甲状腺	
a 良性疾患	
(a) 部分切除	0
(b) 葉切、亜全摘	12
b 悪性疾患	
(a) 部分切除、亜全摘、他	8
(b) 全摘	2
イ 乳 腺	
a 良性疾患	1
b 悪性疾患	
(a) 定型乳切	1
(b) 非定型乳切 (Bt+Ax)	22
(c) Bt (+SLNB)	34
(d) 乳房温存手術 (+SLNB)	36
(e) 全乳腺・単純乳房切除・他	2
ウ 食 道	
a 良性疾患	0
b 悪性疾患	
(a) 胸部食道切除	3
エ 胃十二指腸	
a 良性疾患	
(a) 胃切除	2
(b) 充填／その他	10
b 悪性疾患	
(a) 幽門側胃切除	54
(b) 胃全摘	41
(c) 噴門側胃切除	2
(d) 腹腔鏡下胃切除	15
(e) 胃腸吻合	4
(f) 楔状切除／十二指腸切除	14
(g) P D	1
(h) 単開腹／その他	8
オ 小腸／大腸	
a 良性疾患	
(a) 小腸切除	19
(b) 腸瘻造設	9
(c) 腸瘻閉鎖	23
(d) 腸吻合	2
(e) 結腸切除	22
(f) 大腸亜全摘	3
(g) 癒着剥離	31
(h) 経肛門／経仙骨的切除	1
(i) 単開腹／その他	6
b 悪性疾患	
(a) 腸瘻造設	23

(b) 腸吻合	0
(c) 結腸切除	126
(d) 腹腔鏡下結腸切除	17
(e) 直腸切除	39
(f) 直腸切断	12
(g) 小腸切除	1
(h) 経肛／経仙骨的切除	2
(i) 骨盤内臓器摘出	0
(j) 大腸亜全摘	0
(k) 単開腹／その他	0
カ 虫垂切除	121
キ 肝／胆／膵／脾	
(a) 肝部分切除	23
(b) 肝区域／葉切除	23
(c) 肝床切除	2
(d) 開腹胆摘	39
(e) 開腹胆摘、胆管	7
(f) ラパコレ	165
(g) 胆管消化管吻合	4
(h) 胆管切除	3
(i) P D	3
(j) SSPPD/PPPD	20
(k) 膵尾部切除	4
(l) 膵全摘	0
(m) 膵管空腸吻合	1
(n) 脾摘	3
(o) 胃腸吻合	3
(p) 単開腹／その他	5
ク 内分泌	
(a) 副甲状腺	1
(b) 副腎	1
ケ ヘルニア	
(a) 鼠径大腿	204
(b) 腹壁、臍、ほか	25
コ 痔核痔瘻	27
サ 局麻手術	
(a) 摘出、生検	51
(b) その他	90
シ 外傷／医原性	11
セ 腹膜炎	32
ソ 腹腔内癌再発	16
タ その他	26
② 小児外科（全例全身麻酔）	214件
ア 新生児手術	5
イ そけいヘルニア	110
ウ 虫垂切除	49
エ その他	50
※ 複数の術式が行われた症例では、1症例で複数件としてカウントしてある	

一般外科 疾患・治療法別入院患者数・平均入院日数（2012年）

入院患者総数 2320人、平均入院日数12.7日、中央値7日

		患者数	平均入院日数
イレウス	手術	60	20.8日
	保存療法	130	8.6日
外傷	手術	9	54日
	保存療法	11	20.6日
合併症治療・抗癌剤有害事象	保存療法	44	11.6日
その他	手術	28	28日
	保存療法	71	71日
その他／悪性	手術	8	13.4日
	保存療法	4	48.3日
甲状腺／良性	手術	12	6.8日
	保存療法	1	—
甲状腺／悪性	手術	10	7日
	保存療法	0	7日
内分泌	予定手術	1	8日
新生児	手術	2	115日
非新生児	手術	200	10.2日
	保存療法	33	3.5日
腹腔内癌再発	手術	3	11.3日
	保存・緩和療法	2	31日
腹膜炎	手術	32	34.8日
	保存療法	40	7.8日
ヘルニア	手術	226	4日
	保存療法	6	2.5日
痔核・痔瘻	手術・保存療法	33	6.9日
胃十二指腸／良性	手術	10	21.3日
	保存療法	6	8.9日

		患者数	平均入院日数
胃十二指腸／悪性	手術	147	19.3日
	化学療法	40	3.9日
	放射線療法	0	—
	緩和療法	31	20.7日
肝胆膵脾	保存療法	16	7.6日
	手術	284	12.3日
	保存療法	37	10.2日
	緩和療法	13	17.4日
小・大腸／悪性	化学療法	4	3.8日
	手術	255	16.8日
	化学療法	38	3日
	緩和療法	53	21.3日
小・大腸／良性	保存療法	34	17日
	手術	42	21.3日
	保存療法	10	19.2日
食道／悪性	手術	5	71.2日
	保存療法	9	9日
	化学療法	22	8.3日
	緩和療法	3	19日
虫垂	手術	119	5.1日
	保存療法	19	8.1日
乳腺	手術	2	5.5日
乳腺／悪性	手術	97	9.2日
	保存療法	24	13.7日
	緩和療法	25	30.2日
	化学療法	9	13.7日

国際学会発表

- (1) 一般外科部長 平松和洋 (10th World Congress of the International Hepato-Pancreato-Biliary Association)

Could preoperative chemotherapy for colorectal liver metastases contribute to preserve major vessels in liver resection?

Hiramatsu kazuhiko, Natsume seiji, Kato takehito

Department of general surgery, Toyohashi Municipal Hospital, Toyohashi, Japan

【Introduction】

Current chemotherapy might amplify the chance of curative hepatectomy for colorectal liver metastases. Once the resection is scheduled, tumorous major vessel invasion often limits the extent of liver resection. The aim of this study is to observe the effects of chemotherapy for colorectal liver metastases in perivascular area of major vessels which is major limiting factor in liver resection.

【Method】

Among 91 cases of liver resections for colorectal liver metastases since January 2006 till November 2011, because of tumorous involvement, liver resections with major vessels, including three major stems of hepatic veins and central (more than segmental) glissonean pedicles, were investigated. Sufficient pathological observations were possible in 10 cases. The type of hepatectomies were 6 major hepatectomies, one left lateral sectorectomy and 3 partial resections. Observed major vessels were 2 right anterior glissonean pedicles, 2 left lateral superior segmental glissonean pedicles, one right anterior superior glissonean pedicle, one left portal pedicle, 2 right hepatic veins, 2 left hepatic veins and 2 middle hepatic veins. The effect of chemotherapy were investigated on comparing their computed tomography (CT) images with their histological effect. Tumor regressions were observed on CT as the difference at its longer diameter before and after chemotherapy. Also the distances between tumors and targeting major vessels before and after chemotherapy were measured on CT. The histological residual tumor existence and tumor regression effects were observed. The regression effects were classified into 4 grades as percentage area of fibrosis in the residual tumor area according to the method proposed by Dworak et al.

【Result】

Effects of regression of tumor size on CT were no CR case, 2 cases in PR, 1 case in NC, 2 cases in PD. The number of patients of each histological tumor regression were grade4, 0 and grade3, 1, grade2, 1, grade1, 4, and grade0, 4. Patients with major vascular invasion were considered apart before and after chemotherapy in 5 cases of 10 overall on CT. However, pathologically residual tumor nests were still seen in contact with major vessels in 4 of 5 cases, whose tumor seemed got apart from the major vessels after chemotherapy on CT.

【Conclusion】

Tumor regressions of colorectal liver metastasis involving major vessels after chemotherapy on CT might not necessarily mean possible preservation of their major vessels. Therefore, the way of liver resection for colorectal liver metastasis could be decided mostly at first imaging diagnosis even in the era of strong agents of chemotherapy.

学会発表

<一般外科>

No.	演 題 名	発表者及び 共同研究者	学会・研究会名	発表年月日
1	盲腸軸捻転症の一例	加藤 健 宏	第37回愛知臨床外科学会	2012/2/11
2	膵カルチノイドの一例	山田美保子	第37回愛知臨床外科学会	2012/2/11
3	胃GIST術後に発生した大網デスマイド腫瘍の1例	石 井 健 太	第37回愛知臨床外科学会	2012/2/11
4	右側スピーゲルヘルニアの1例	三 品 拓 也	第34回東三河医学会	2012/3/3
5	膵カルチノイドの1例	山田美保子	第283回東海外科学会	2012/4/8
6	上行結腸に発生した扁平上皮癌の1例	林 大 介	第283回東海外科学会	2012/4/8
7	イマチニブによる術前化学療法後、切除した胃巨大GISTの1例	南 貴 之	第283回東海外科学会	2012/4/8
8	肝門部胆管癌におけるリンパ節転移の意義：個数、局在、転移度と予後の関連	青 葉 太 郎	第112回日本外科学会定期学術集会	2012/4/12
9	メッシュを使用した傍ストマヘルニア根治術の10症例	駒 屋 憲 一	第10回日本ヘルニア学会学術集会	2012/4/28
10	膵頭十二指腸切除後11年目に膵管チューブの遺残と嵌頓膵石により膵炎を発生した1例	平 松 和 洋	第24回日本肝胆膵外科学会学術集会	2012/5/31
11	当院における再発乳癌の発見経緯の検討	吉 原 基	第20回日本乳癌学会学術総会	2012/6/28
12	乳癌術後症例における腫瘍マーカーと再発に関する検討	高橋大五郎	第20回日本乳癌学会学術総会	2012/6/28
13	当院における異時性両側性乳癌の発見経緯の検討	山田美保子	第20回日本乳癌学会学術総会	2012/6/29
14	Could preoperative chemotherapy for colorectal liver metastases contribute to preserve major vessels in liver resection?	Hiramatsu Kazuhiro	10th International Hepato-Pancreato-Biliary Association	2012/7/1
15	胃癌術後の孤立性脾転移を疑う病変に対し脾摘出術を施行した1例	清 板 和 昭	第38回愛知臨床外科学会	2012/7/16
16	腸回転異常症に起因した内ヘルニアによる絞扼性イレウスの1例	西 俊 彦	第38回愛知臨床外科学会	2012/7/16
17	虫垂腺腫による腸重積の1例	三 竹 泰 弘	第38回愛知臨床外科学会	2012/7/16
18	転移性卵巣癌による鼠径ヘルニア嵌頓の1例	和 田 幸 也	第38回愛知臨床外科学会	2012/7/16
19	大腸癌肝転移治癒切除後のTS-1補助化学療法（多施設共同第2相試験:N-SOG 01）安全性についての中間報告	平 松 和 洋	第67回日本消化器外科学会	2012/7/20
20	肉腫成分の混在を伴う胆嚢扁平上皮癌の1例	夏 目 誠 治	第48回日本胆道学会学術集会	2012/9/21

学会発表

<一般外科>

No.	演 題 名	発表者及び 共同研究者	学会・研究会名	発表年月日
21	当科における術中胆管損傷症例の検討	夏目 誠 治	第20回JDDW	2012/10/13
22	イレウスで発症した小腸顆粒球肉腫の1例	駒屋 憲 一	第20回JDDW	2012/10/12
23	潰瘍性大腸炎に合併した直腸内分泌細胞癌の1例	篠原健太郎	第284回東海外科学会	2012/10/21
24	急性胆嚢炎と鑑別が困難であった感染性肝嚢胞の1例	前田 孝	第284回東海外科学会	2012/10/21
25	SSPPDにて切除し得た結腸癌術後、十二指腸壁内再発の1例	南 貴 之	第284回東海外科学会	2012/10/21
26	大腸癌化学療法の Bevacizumab による副作用としての蛋白尿と高血圧の関係について	平松和洋	第50回日本癌治療学会	2012/10/26
27	当院におけるオキサリプラチンによるアレルギー発現後の再導入症例の検討	山田美保子	第50回日本癌治療学会	2012/10/26
28	術前診断した左傍十二指腸ヘルニアの1例	前田 孝	第74回日本臨床外科学会	2012/11/29
29	保存的治療で軽快した十二指腸憩室穿孔の1例	石井健太	第74回日本臨床外科学会	2012/11/29
30	当院における急性胆嚢炎の手術症例の検討	駒屋 憲 一	第74回日本臨床外科学会	2012/11/30
31	主膵管内膵石を合併した膵管内乳頭粘液性腫瘍(IPMN)の1例	高橋大五郎	第74回日本臨床外科学会	2012/12/1
32	腹腔鏡下に切除した肝外発育性肝血管腫の1例	駒屋 憲 一	第25回日本内視鏡外科学会	2012/12/7

研究会発表

<一般外科>

No.	演 題 名	発表者及び 共同研究者	学会・研究会名	発表年月日
1	主膵管途絶をきたした膵内分泌腫瘍の1症例	山田美保子	第44回肝胆膵治療研究会	2012/3/17
2	当院におけるXELOX療法とチーム医療	石 井 健 太	東海消化器がん懇話会	2012/9/12
3	当院でのN-SOG 05 5症例の経験	高橋大五郎	第6回名古屋腫瘍外科研究会	2012/11/2
4	当科における術中胆管損傷症例の検討 右後区域胆管の走行および副肝管の存在との 関連について	夏 目 誠 治	第4回Acute Care Surgery研究会	2012/11/28
5	PTBD施行14日後に発症した肝内動脈瘤 破裂による胆道出血の1例	清 板 和 昭	第4回Acute Care Surgery研究会	2012/11/28

座長・司会

<一般外科>

No.	演 題 名	座長名	学会・研究会名	発表年月日
1	臍	平 松 和 洋	第37回愛知臨床外科学会	2012/2/11
2	特別講演 東京女子医科大学消化器病センター消化器内科 斎藤明子「肝細胞癌の治療 -長期生存をめざして-	平 松 和 洋	第18回豊橋がん診療フォーラム	2012/1/19
3	特別講演 愛知県がんセンター中央病院乳腺科 岩田広治「乳癌の治療 -チーム医療の重要性-	吉 原 基	第20回豊橋がん診療フォーラム	2012/3/15
4	若手奨励賞3	平 松 和 洋	第284回東海外科学会	2012/10/21
5	一般演題座長 高橋大五郎「当院でのN-SOG 05 5症例の経験」	平 松 和 洋	第6回名古屋腫瘍外科研究会	2012/11/2
6	特別講演座長	平 松 和 洋	東三河DICセミナー	2012/11/3
7	特別講演座長 がん研有明病院 消化器外科 比企直樹「がんと栄養～体重減少と炎症を抑えることの意義を理解する～」	平 松 和 洋	第27回豊橋がん診療フォーラム	2012/11/15

論文・著書

<一般外科>

No.	題 名	発表者及び 共同研究者	雑 誌 名
1	膵尾部に発生した脾摘後脾症の1例	加藤 健 宏	日本消化器外科学会雑誌 第45巻,1号,74-80頁,2012年
2	胃サイトメガロウイルス感染症により穿孔を来したAIDSの1例	桐 山 宗 泰	日本消化器外科学会雑誌 第45巻,3号,250-257頁,2012年
3	上部消化管造影後に発症したメッケル憩室穿孔の1例	雄 谷 慎 吾	日本消化器外科学会雑誌 第45巻,5号,512-521頁,2012年
4	メッシュの遅発性感染による虫垂周囲膿瘍の1例	星 野 伸 晃	日本腹部救急医学会雑誌 第32巻,1号,121-124頁,2012年
5	内視鏡的大腸ポリープ切除後に広範な皮下気腫を認めた1例	星 野 伸 晃	日本腹部救急医学会雑誌 第32巻,3号,691-694頁,2012年
6	乳癌脳転移の臨床的特徴	吉 原 基	日本臨床 第70巻,増刊号7号,135-138頁,2012年
7	膵小細胞癌の1例	山 田 英 貴	日本臨床外科学会雑誌 第73巻,6号,1524-1529頁,2012年
8	潜在性乳癌の2例	山田美保子	日本臨床外科学会雑誌 第73巻,11号,2768-2773頁,2012年
9	術中小腸内視鏡によって診断した多発性隔壁様小腸狭窄症の1例	宇 治 誠 人	日本臨床外科学会雑誌 第73巻,11号,2874-2879頁,2012年
10	特発性血小板減少性紫斑病 (ITP)合併再発大腸癌に化学療法を施行しITPが寛解した1例	高橋大五郎	癌と化学療法 第39巻,9号,1423-1425頁,2012年